

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月16日

【評価実施概要】

| | |
|-------|------------------------------------|
| 事業所番号 | 2970101677 |
| 法人名 | ホームケア株式会社 |
| 事業所名 | ホームケア学園南 |
| 所在地 | 奈良市学園南3丁目13-3 (電話) 0742-44-1507 |

| | |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 奈良県国民健康保険団体連合会 |
| 所在地 | 奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内 |
| 訪問調査日 | 平成 20年 3月 14日 |

【情報提供票より】(20年 2月13日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|--------|---------------|
| 開設年月日 | 平成 16年 11月 1日 |
| ユニット数 | 2 ユニット |
| 職員数 | 14 人 |
| 利用定員数計 | 18 人 |
| 常勤 | 10 人 |
| 非常勤 | 4 人 |
| 常勤換算 | 6.5 人 |

(2) 建物概要

| | |
|------|----------------------|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート()、鉄骨() 造り |
| | 2階建ての、1階 ~ 2階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|---------------|----------------|----------|-------|
| 家賃(平均月額) | 68,000 円 | その他の経費(月額) | 19,750 円 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(100,000 円) | 有りの場合 償却の有無 | 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 300 円 | 昼食 | 600 円 |
| | 夕食 | 700 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要(2月 13日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 5 名 | 女性 | 13 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 2 名 | | |
| 要介護3 | 10 名 | 要介護4 | 3 名 | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | | | |
| 年齢 | 平均 81 歳 | 最低 | 61 歳 | 最高 | 92 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------------|
| 協力医療機関名 | 学園前診療所、阪奈中央病院、吉田病院 |
|---------|--------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

落ち着いた住宅地内に位置するホームは、元社員寮であった鉄筋2階建てを改装したユニット と、数年置いて新築された鉄骨作りの平屋のユニット があり、構造的にそれぞれの特徴があります。一日の多くを2階の居室(寝室階)から離れて1階のリビングで過ごされるユニット、リビングを囲んで作られた居室と行き来しながら過ごされるユニット です。利用者の状況に合わせた活用もされており、本人や家族の希望があれば、目一杯ホームで生活できるよう対応されています。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価では、改善課題とされてた、週1回のケース会議で申し送りや理念を徹底して周知する、認知症、虐待などの研修マニュアルの作成や感染症対策の徹底、チェック漏れの見直し・確認を徹底するなどの対策をとられています。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は管理者一人で作成されています。サービス評価については、自己検証され、改善に取り組みされていますが、週1回のケース会議をもたれており、そうした機会を捉え、全職員が参加して自己評価に取り組みられると共に、外部評価を活用し、職員の意識向上に繋がられるよう期待します。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2月に開かれた第1回目の運営推進会議では、利用者の家族、自治会長、民生委員、地域包括支援センターの職員、ホームの職員等の参加の下、ホームから、運営推進会議の趣旨、ホーム及び認知症の理解のついて報告し、活発な意見交換がなされ、地域からの提案等、サービスの改善に向けての契機とされていますが、サービス評価と運営推進会議を結びつける取り組み等、今後も継続的に開催されることを期待します。また、市の担当者の出席は見られませんが、地域密着型サービスに制度改正されたことから、市の役割は重要ですから、参加が得られるよう取り組まれることを期待します。</p> |
| 重点項目 | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の面会時には記録を見てもらいながら、面会が無い場合は電話でご本人の様子を知らせる取り組みをされています。また、毎月、定期的に文書で報告されています。なお、家族の面会時や電話での連絡などの機会をとらえて家族の意向を聴き、ホーム内の担当者会議で反映されています。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩の折に、顔なじみになった地域の方がおられますが、地域の一員としての取り組みが希薄なものと感じられます。自治会との交流の促進を検討されていますので、今後の取り組みに期待します。</p> |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|---|-----|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 法人としての「理念」をホームの理念にされていますが、地域密着型の位置づけになったことを踏まえた「理念」の見直しや、ホーム独自のオリジナリティのある理念作りには至っていません。 | | 地域密着型サービスに制度改正され、地域社会とのかかわりを重視されたことから、より積極的に地域との交流を視野に入れ、改正の趣旨を踏まえた理念の検討が望まれます。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 「理念」を共有するために、ホーム内の複数箇所に掲示してあります。スタッフそれぞれの表現で理念のエッセンスを掴んでおられますが、日常的に共有化するシステムにはなっていません。 | | 新入時やホーム内研修で、理念を掘り下げ、ケアにおいて血や肉となる取り組みを期待します。 |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 散歩の折に、顔なじみになった地域の方がおられますが、地域の一員としての取り組みが希薄なものと感じられます。 | | 自治会との交流の促進を検討されていますので、今後の取り組みに期待します。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価は管理者一人で作成されています。サービス評価については、自己検証され、改善に取り組まれています。 | | 週1回のケース会議をもたれており、そうした機会を捉え、全職員が参加して自己評価に取り組まれると共に、外部評価を活用し、職員の意識向上に繋げられるよう期待します。 |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2月に開かれた第1回目の運営推進会議では、利用者の家族、自治会長、民生委員、地域包括支援センターの職員、ホームの職員等の参加の下、ホームから、運営推進会議の趣旨、ホーム及び認知症の理解について報告し、活発な意見交換がなされ、地域からの提案等、サービスの改善に向けての契機とされています。 | | 運営推進会議が開催されていますが、サービス評価と運営推進会議を結びつける取り組み等、今後も継続的に開催されることを期待します。また、市の担当者への出席は見られませんが、地域密着型サービスに制度改正されたことから、市の役割は重要ですから、参加が得られるよう取組まれることを期待します。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|---|-----|--|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 利用手続きなどで、市の担当課とは関係を持つ努力をされていますが、質の向上にまで至っていないと感じます。 | | 研修会等にも積極的に参加し連携を深めたいと考えておられることから、サービスの質の向上に繋がる取り組みを期待します。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 家族の面会時には記録見てもらいながら、面会が無い場合は電話でご本人の様子を知らせる取り組みをされています。また、毎月、定期的に文書で報告されています。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族の面会時や電話での連絡などの機会をとらえて家族の意向を聴き、ホーム内の担当者会議で反映されています。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 馴染みの関係が大切であることを認識され、引継ぎをしっかりと行うようにされています。異動には配慮されていますが、やむを得ず職員が代わる場合は、職員の異動について家族には、事前に報告する努力をされています。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 管理者育成のための本社研修や外部研修など積極的に参加されています。 | | 伝達研修中心の職員もあることから、段階的・計画的な研修の機会の確保に工夫が望まれます。 |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 自社のグループホームを多く運営しておられますが、その中でも、なかなか交流する機会がもたれていません。 | | 運営推進会議で地域包括支援センターとの連携が可能となってきますので、そのエリアのネットワーク会に参加するなど、きっかけを作られるよう期待します。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|--|-----|--|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>利用前に、訪問などで本人と担当者が面会し、「顔見知り」となるよう努められています。</p> | | <p>更にサービスの質の向上を目指し、面談日から決定日までの期間、ホームの雰囲気に触れたり、他の利用者や職員と馴染めるよう昼食やおやつを共にする機会を持たれるなど工夫されてはいかがでしょうか。</p> |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>介護度が重度の利用者が増えている中で、なかなか協働ということが困難になってきています。しかし、職員は日常生活の場面場面で、本人が出来ること、希望されることをさりげなく声かけをして、利用者と共に過ごし支えあう生活が形成されています。</p> | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>日々の暮らしの中で、本人の思いや要求を把握する努力がされていると共に、生活歴や家族からの情報(生活環境、物語など)を基に、その人らしさを尊重した対応に努められています。</p> | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>利用初期はもちろん、経過的に本人、家族の意向の把握に努め、ケース会議に取り上げて、介護計画を作成しておられます。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>定期的に介護計画を見直しする他、毎週1回ケース会議を設定し見直しされています。状態の変化に即応した計画の見直し、家族と医療関係者を交えて話し合うこととされています。</p> | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|--|-----|---|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者本人や家族の要望があれば、介護保険外での外出支援をされていますが、事業所の多機能性を活かした支援としては十分ではないと感じます。 | | 受診など、個別の要望についても、事業所の条件内で柔軟な支援に取り組みられるよう期待します。 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ホームの提携医療機関はありますが、利用前から馴染みのかかりつけの医療機関を希望される場合は、継続して受診しておられます。ホームでの状態などの情報提供をし、また報告も受けて連携に努められています。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 時々に応じて、本人や家族の意向を確認し、状態の変化時にはかかりつけ医から説明をしてもらい、本人・家族の意向の把握に努めておられます。得られた情報を基に、対応方針を定め、職員間で情報を共有化し支援されています。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 親しみを持ちつつも声かけには配慮し、それぞれの利用者の尊厳を大切にしよう努められています。また、整理された各種記録はきちんと保管されています。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人一人のペース(理解、納得、動作など)を尊重して、「見守りつつ待つ」という姿勢で接しておられます。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|--|-----|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者は、準備や片付け、洗い物が出来る人、傍で見守りをされるなどの役割をもっておられます。食事は、職員は持参の弁当と一緒に食べながら、見守りと適切な支援をされています。 | | 職員は弁当を持参されていますが、ホームの特性を踏まえて利用者と一緒に食事を楽しめる環境づくりを検討されてはいかがでしょうか。 |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴日は一応決められていますが、その日によって気分や体調が変わることがあり、無理強いをせず、タイミングを見ながら、楽しめるよう柔軟な支援をされています。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者と共に、外出の計画作りを一緒にしたり、お手伝いが出来る方には、タイミングをみながら出番を誘うなど、残存能力を発揮できるような支援を心がけておられます。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 住宅地の中に田んぼがあるなど、気分や目先を変えたコースがあり散歩はよくされています。また、可能な利用者と買い物に出かけられることもあります。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 家族の了解は取られていますが、玄関は何れのユニット共に鍵がかけられています。 | | 安全への配慮から玄関は施錠されていますが、利用者にもたらす心理的な不安・閉塞感、家族や地域の人々にもたらすデメリットを認識され鍵をかけないケアのあり方を検討することが望まれます。 |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | マニュアルを作成し、それに基き、消火訓練と避難訓練はされていますが、被災時に応援を請えるほどの近所との関係作りは出来ていません。 | | 地域の応援・協力が得られるような関係作りの取り組みや地震災害を考えた飲料水や非常物品の備蓄についても検討されることを期待します。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|---|-----|----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| | | 栄養摂取や水分確保の支援 | | | |
| 28 | 77 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一日の食事量と水分の摂取状況を記録し把握されています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| | | 居心地のよい共用空間づくり | | | |
| 29 | 81 | 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 2つのユニットは構造が異なりますが、それぞれの特徴を活かして、外の景色を見ることが出来る場所にソファや椅子を配置し季節を感じるようにされている他、それぞれの居場所を確保できるように工夫されています。 | | |
| | | 居心地よく過ごせる居室の配慮 | | | |
| 30 | 83 | 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用時には、愛着のあるものなど馴染みのものの持込を勧められています。パソコンを置いて書斎のような居室であったり、衣服をハンガーにかけて選びやすく配置された居室など、その人らしい居室となっています。 | | |